



2021年12月21日 キリスト教センター通信 リレーメッセージ 第47号

## 「思い描いていたのと違う」

神戸国際大学オルガニスト 伊藤 純子

クリスマスの聖書物語。イエスの母マリアにとっては「思い描いていたのとは違う」事柄の連続でした。突然やってきた天使に「救い主を身ごもった」ことを知らされた時は、相手もわからず世間からバッシングの危険性もあり、人生設計図も狂い、さぞ悩んだことでしょう。しかも身ごもったのは救い主です。子を想う母として「思い描く」子の幸せとは程遠い事柄が、次々と我が子に起きることを覚悟しなくてはなりません。そのようなマリアは「聖霊の導き」によって、自分の身に起きたことを喜びをもって受け入れたと、聖書にあります。

先日、電車内でのご婦人の言葉にハッとしました。ご友人との数分の会話です。おそらく90歳前後であろうことが会話内容からわかりました。何とも朗らかな声で「若い時に思い描いていた人生とは、全く違うものになったわ〜」。ついマイナスに見えてしまういくつかの事象を振り返り、極めてプラスに解説しておられました。「その時その時で、良いように、って思っていただけで」幸せな現在に至っている、というお話でした。思わず拝見したそのお顔は、それはそれは美しく輝いていました。

思い描いたとおりになるばかりが、幸せとも限りません。日常の中で「思い描いていたのと違う」出来事に遭遇した時、私もこのお二人の女性のように受けとめることができれば、それはそれは幸せな人生が訪れるのであらうと思いました。



### 一ロメモ「クリスマスキャロル」

マリアはイエスを出産するとき、理想的な出産環境が見つかりませんでした。おそらく冷え込んで動物の臭いに包まれた暗い夜に、イエスは誕生したのでしょう。

飼い葉おけに眠るイエスと、遠方から訪ねて来た羊飼いたちの風景を歌った聖歌が「きよしこのよる」です。

街なかでよく流れているクリスマスキャロルは、聖歌集の中にあるものも多いです。



音色はこちら →

## - 新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り -

※ みなさんもお時間のあるときにお祈り下さい

### 神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心にかなった正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。このお祈りを、主イエスさまの、み名によってお捧げいたします。 アーメン

### 病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒やしてください。また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

### 離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離なれて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。 アーメン